

※□は、ロットNO表示位置を示します。

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しく下さい。

■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- つり車は本体に必ずねじ止めし、ガタツキがないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 扉を開ける時は、扉の折れ曲がり部分に手を添えないでください。手をはさむおそれがあります。
- 扉へのもたれ掛かりは、扉がはずれて転倒しけがの原因になりますので、もたれ掛からないようにしてください。
- 扉の把手にぶらさがったり重量をかけたままにしないでください。扉が転倒してケガをしたり、把手が破損するおそれがあります。
- 上レールは仮固定されていますが、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	折れ戸用枠	折れ戸用下枠
●クローゼット本体	●上枠 ●上レール (上枠に仮固定済み) ●縦枠 (2本)	●下レール ●下枠 ●埋込み下枠 ケーシング材 (上用) ケーシング材 (縦用)

■本体用部品

	つり車	皿タッピンねじ φ3.5×20 (つり車取付け用)	ガイド ローラー	把手セット (ねじ付)	把手セット (ねじ付) (グランド ライン用)	調整スナバ	ピボット固定金具
W07・08	2	8	2	1	1	1	1
W12・13・16・18	4	16	4	2	2	2	2
W24・26・27	6	24	6	3	3	3	3
W33・34・36	8	32	8	4	4	4	4

■枠用部品

	ジョイント金具用 皿小ねじ M4×50 (上枠・縦枠組立用)	トラスタッピン ねじφ4×55 (上枠躯体取付け用)	キャップ取付け用 皿木ねじ φ4.5×50 (縦枠躯体取付け用)	ねじ頭キャップ (縦枠躯体取付け用) 皿木ねじ用	皿タッピンねじ 頭部シート色塗装 φ4×50 (縦枠躯体取付け用)
W07・08	4	4	12	12	12
W12・13	4	5	12	12	12
W16・18	4	6	12	12	12
W24	4	8	12	12	12
W26・27	4	9	12	12	12
W33	4	10	12	12	12
W34・36	4	11	12	12	12

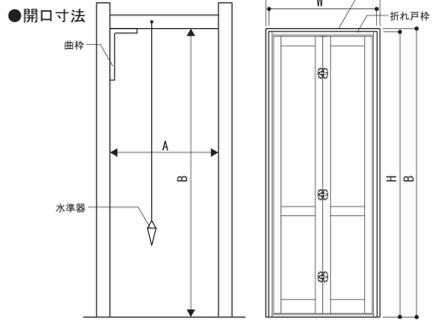
■下枠用部品

	DNビス (皿木ねじ) φ3.8×65 (下枠組立用)	皿タッピンねじφ3.5×20 (枠取付け用)
薄下枠W07～W08	4	2
薄下枠W12～W18	4	3
薄下枠W24～W36	4	5
埋込み下枠W07～W18	-	3
埋込み下枠W24～W36	-	5
	縦枠下部ビス	縦枠下部ビス取付けねじ (皿タッピンねじ) 1種 φ4×20
埋込み下枠W07～W18	2	2
埋込み下枠W24～W36	2	2

■開口部の確認

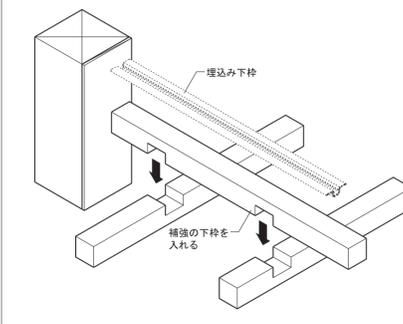
●開口部の水平・垂直を確認してください。
※開口部寸法が右記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+10 mm
開口寸法B	製品寸法H+5 mm



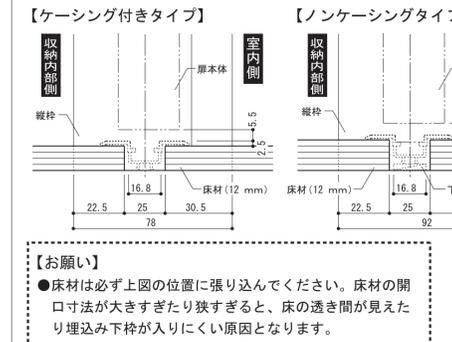
■下枠下地の確認

●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や扉開閉不具合の原因となります。



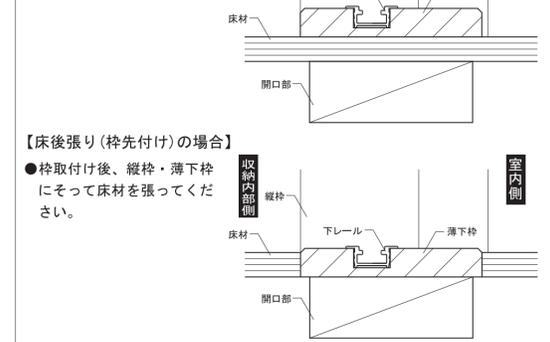
【埋込み下枠を使用 (枠後付け) する場合】

●床張り位置 (床の張り込み)
●下図の位置に25mm (最小開口20mm) あけて床材を張ってください。
※グランドラインには、ノンケーシングタイプの設定はありません。



【薄下枠を使用する場合 (床載せ納まり)】

●床材を張ってから枠を取り付けてください。



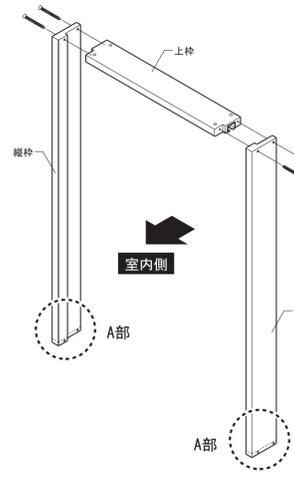
■取付け順序

1 枠の組立て

【埋込み下枠を使用する場合】

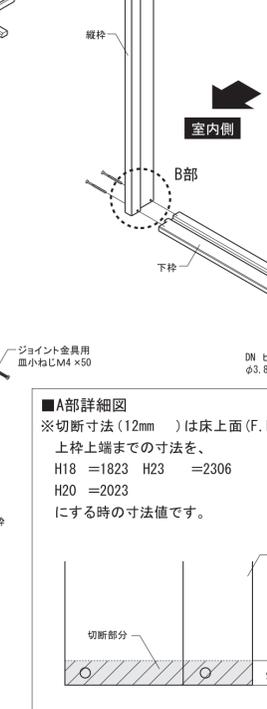
- 縦枠下部 (A部詳細図中斜線部) を切断してください。
- 縦枠に縦枠下部ビスをねじ (皿タッピンねじφ4×20) で固定します。縦枠に下穴を開ける時は、この取付け説明書に載せてある型紙を使用し位置出しをしますと、簡単に開けることができます。

●下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。



【薄下枠を使用する場合】

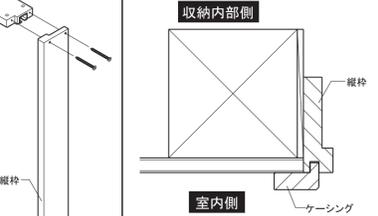
- 縦枠下部 (B部) は切断せずに使用してください。
- 下図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。



■A部詳細図
※切断寸法 (12mm) は床上面 (F.L.) から上枠上端までの寸法を、
H18 = 1823 H23 = 2306
H20 = 2023
にする時の寸法値です。

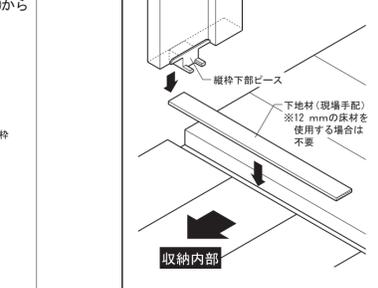
2 枠の取付け

- 組み立てた枠を開口部に入れます。
- ここでケーシングタイプの場合は、縦枠にケーシングを差し込みます。枠の固定位置を確認します。
- ※ケーシングの足が短い場合、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。
- ※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



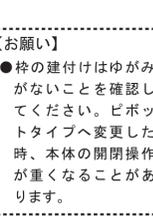
■埋込み下枠の取付け

- ① (15mmの床材を使用する場合) 下地調整材を床の開口部に取り付けてください。
- ② 埋込み下枠をねじ (皿タッピンねじφ3.5×20) で固定します。この時、埋込み下枠と縦枠下部ビスをしっかりとめ込んでからねじ止めしてください。埋込み下枠の浮き上がりや扉開閉不具合の原因となります。



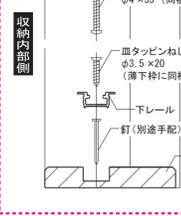
■上枠・下枠・縦枠を

- 躯体開口部に固定します。



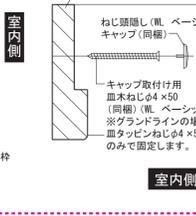
■薄下枠を使用する場合

- 上レールは仮固定されていますが、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。



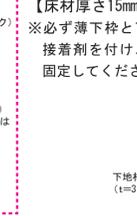
▲注意

- 上レールは仮固定されていますが、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。
- 薄下枠を使用する場合



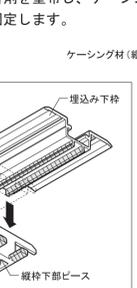
【床材厚さ12mm】

※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



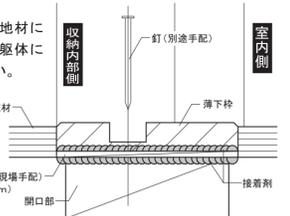
【床材厚さ15mm】

※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



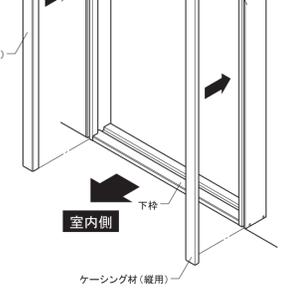
■ケーシング材の取付け

- 【ケーシングタイプのみ】
- ※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取り付けてください。
- ① 別梱のケーシング材を現場手配に合わせて切断します。
- ② 枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。
- ③ ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。



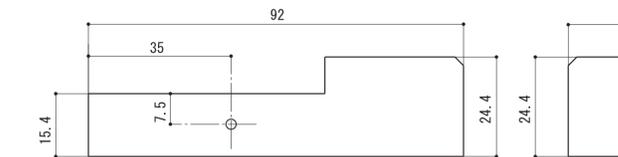
■埋込み下枠の足 (斜線部)

が縦枠下部ビスの足 (斜線部) の間にしっかりと入り取り付けてください。



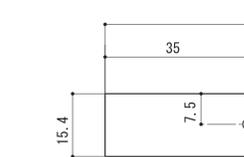
■縦枠下部ビス取付穴加工用型紙 (原寸)

【ノンケーシング縦枠】※グランドラインには、ノンケーシングタイプの設定はありません。
※下穴の大きさ: φ2.5 深さ5mm



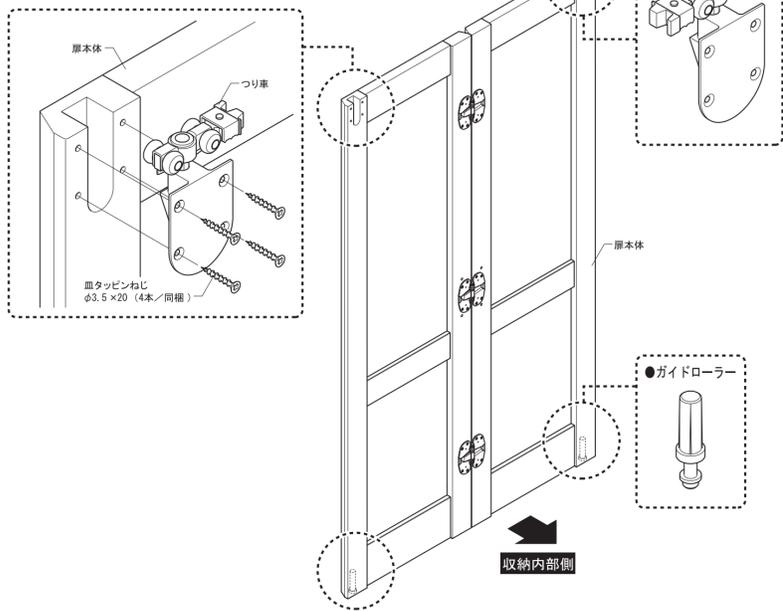
【ケーシング付き縦枠】

※下穴の大きさ: φ2.5 深さ5mm

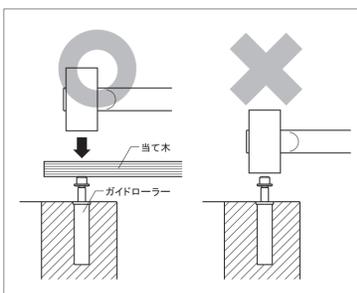


■本体のつり込み

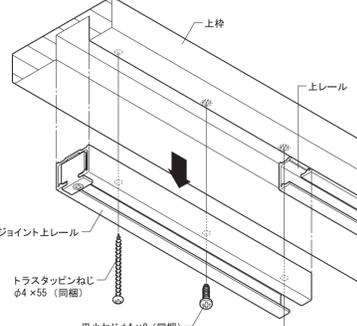
- ①扉上部の切欠き部に、つり車を差し込み、血タッピンねじで固定します。ガイドローラーを扉の加工穴に圧入します。
※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみとしてください。



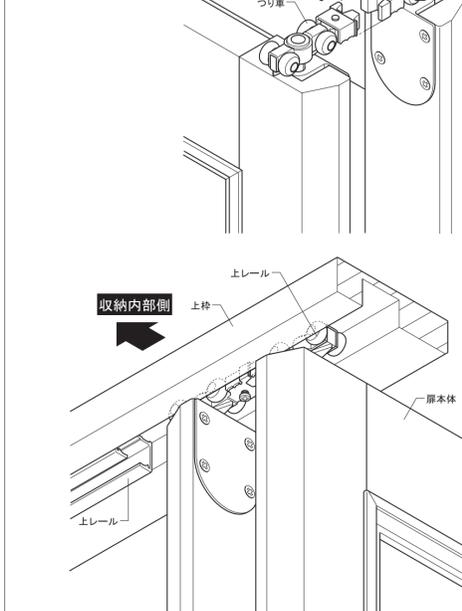
※ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。



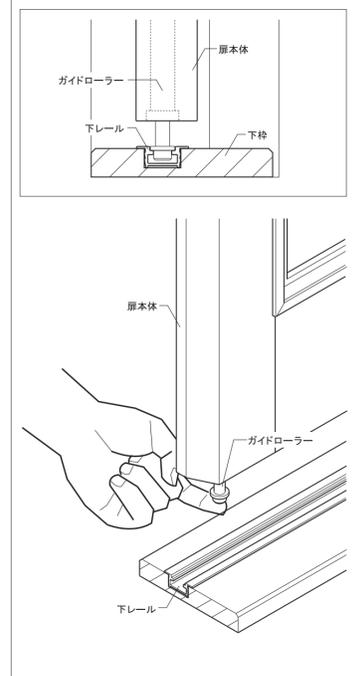
- ②扉をつり込む前にジョイント上レールを取りはずします。



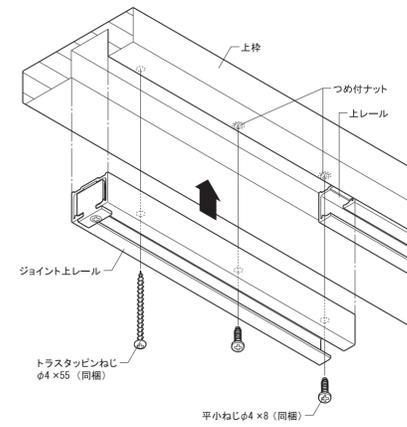
- ③扉を折りたたんで扉上部の左右のつり車をかみ合わせます。次に上枠のレール端から、つり車を差し込みます。



- ④ガイドローラー先端を指で押さえ、下部レールへ差し込みます。



- ⑤扉をつり込んだ後、ジョイント上レールを取り付けます。(図-8)
※ジョイント部に段差が出ないように注意してください。

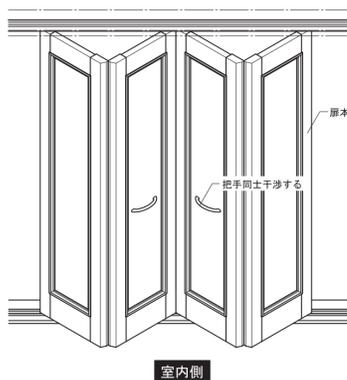


- ⑥把手を取り付けます。2枚の扉の裏面に把手取付け用の下穴が中間位置まであけてあります。把手を取り付ける側の扉の下穴を貫通(φ4.5)してください。下穴をあける際には、本体表側に当て木をし、バリが出ないようにしてください。

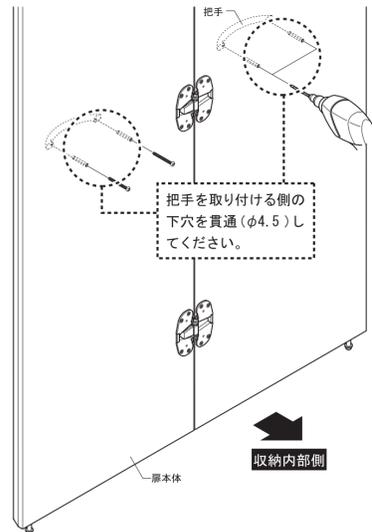
【お願い】
●あて木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

【把手の位置について】

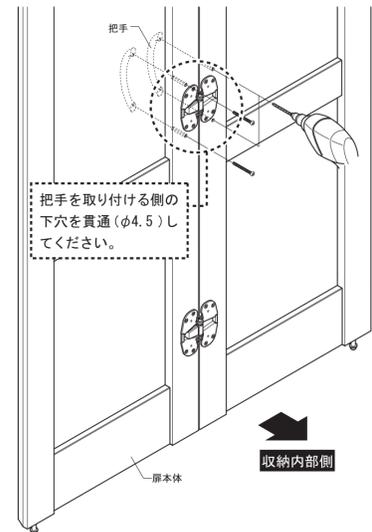
- ミラー付扉の場合、ミラー側の扉には把手が付きません。
- 扉を複数枚つり込んだ場合、扉を折った状態で向かい合わせになる扉それぞれに把手を取り付けると、開閉した時に把手同士が干渉します。製品にキズが付きまますのでできるだけ向かい合わせにならないように取り付けてください。



- CF-A・CF-Bタイプ本体の場合
※把手は横向きに付きませす



- CF-C・CF-D・CF-GA・CF-GB・CF-GCタイプ本体の場合
※把手は縦向きに付きませす

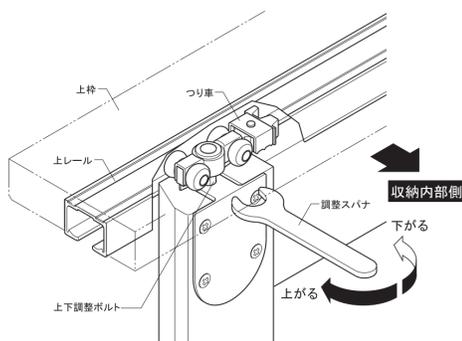


■調整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

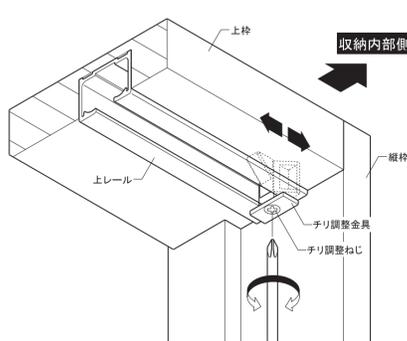
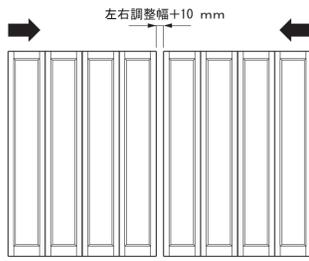
【段違い(上・下)の調整】

- 扉の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右のつり車の上下調整ボルトを付属のスパナで回し調整してください。(上下調整量±3mm)



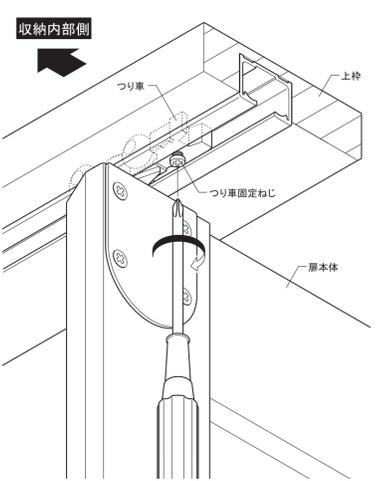
【チリ(左・右)の調整】

- 扉間のチリが大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているチリ調整金具で調整できます。チリ調整ねじをドライバーで回し、調整してください。チリ調整ねじを右に回すと、チリが小さくなります。
注)チリ調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。



【フリー→ピボットの変更】

- 扉上部の固定
①扉本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
②固定したい扉側の上部つり車に付いている「つり車固定ねじ」を回し、しっかりとつり車が固定されるまでねじを回します。
③扉を左右にゆすって扉が固定されたかどうかを確認します。

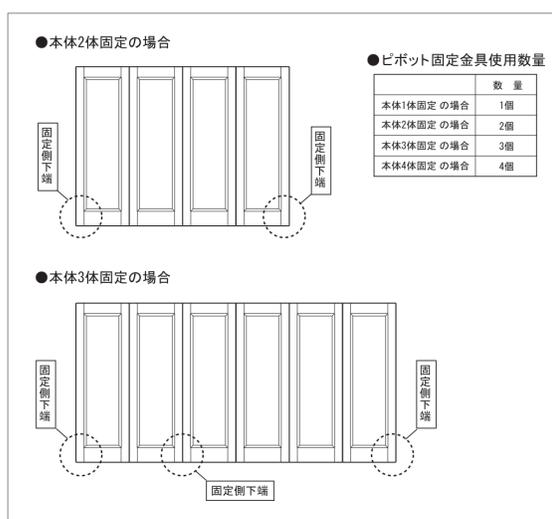


【ピボット→フリーの変更】

- ※つり車のつり車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。開閉不具合の原因となります。

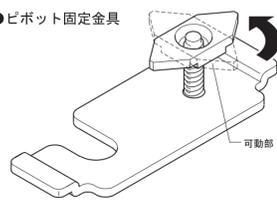
●扉下部の固定

※ピボットとして本体を使用する場合は、本体用部品セットに同梱のピボット固定金具を用いて本体固定側の下端を固定してください。

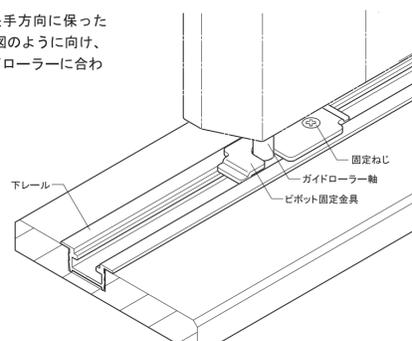


- ①本体を正しい位置に移動させて、本体の垂直がでているか確認します。
②ピボット固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。

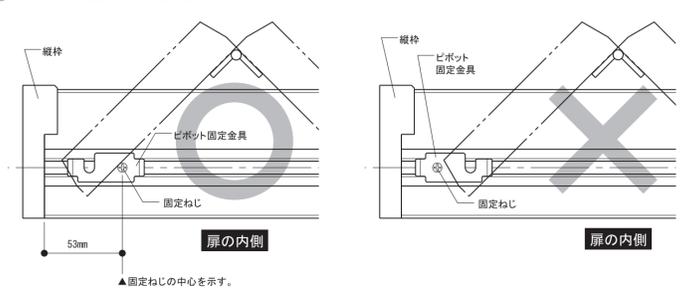
●ピボット固定金具



- ③ピボット固定金具可動部を長手方向に保ったまま、ピボット固定金具を右図のように向け、U字型の切り欠き部分をガイドローラーに合わせ、下レールにのせます。



- ④ピボット固定金具の取付け向きは、下図のように固定ねじが扉の内側になるよう、取り付けてください。
⑤ピボット固定金具の固定位置は、下図を参照してください。



- ⑥固定ねじをプラスドライバーで右に回します。ピボット固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。※尚、再びピボットからフリーにするときは、固定ねじを左に回しねじをゆるめてピボット固定金具を回転させながら外してください。